

つなぐ

第7号

2017年11月1日発行
鳥取県境港市議会



平成29年9月定例会 補正予算 P 2

議決結果 P 3

一般質問 P 4

市民と議会の懇談会 P17

中野港漁村市



平成29年

9月定例会 補正予算

9月定例議会は、9月13日から10月2日までの20日間の会期で開かれ、平成29年度一般会計補正予算、介護保険費特別会計補正予算など予算関連5議案、副市長の選任など人事6議案、境港市職員の育児休業等に関する条例改正など条例6議案、その他議決案件1議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。追加提出された平成28年度歳入歳出決算の認定議案は、決算特別委員会を設置し閉会中継続審査することに決まりました。その他、陳情2件が提出され、審議の結果、1件は採択、1件は閉会中の継続審査となりました。境港市飲酒運転根絶宣言に関する決議など委員会提出議案、議員提出議案4件は原案どおり可決されました。

議決結果はP3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。



庁舎設備省エネ改修事業

市庁舎の照明器具や空調設備の
省エネ改修事業

2,255万円



誠道町飛砂対策事業

誠道地区の飛砂対策として、
防砂ネットを設置する工事費

5,191万円



水産業6次化支援事業

水産物の付加価値向上をめざして仲買業者が
行う活カニ水槽整備への補助金

1,000万円



本町アーケード解体撤去 事業補助金

アーケードを撤去する本町アーケード
商店街への補助金

313万円

狭あい道路拡幅整備事業

狭あい道路の拡幅整備を行うための
実施設計費など
1,000万円



平成29年9月定例会 議決結果

◆人 事

案 件	議決結果
教育委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意 (全会一致)
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意 (全会一致)
副市長の選任について	同 意 (全会一致)

◆議 案

案 件	議決結果
平成29年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
平成29年度境港市介護保険費特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
平成29年度境港市一般会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
平成29年度境港市介護保険費特別会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
平成29年度境港市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決 (全会一致)
境港市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市民会館条例を廃止する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市日曜休日応急診療所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市浄化センター条例を廃止する条例制定について	原案可決 (全会一致)
建設工事の委託に関する基本協定の変更について [下水道センター建設工事]	原案可決 (全会一致)

◆陳 情

案 件	議決結果
国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての陳情	採択 意見書提出 (賛成多数)
一日も早い中海の再生を求める陳情	閉会中の継続審査 (賛成多数)

◆委員会提出議案

案 件	議決結果
境港市飲酒運転根絶宣言に関する決議	原案可決 (全会一致)
「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の継続に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

◆議員提出議案

案 件	議決結果
国民健康保険都道府県単位化に係る意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)
「核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶に関する条約」の早期批准を求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)

このほか、一般会計等の決算認定に関する議案（閉会中の継続審査）が9件、報告案件が4件ありました。また、平成28年度決算審査特別委員会が設置されました。

市政を問う

13人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員につき最大1ページとしています。各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。9月定例会は、すべて各個質問です。

ページ		質問事項	質問議員
5	各個質問	①本市の観光行政について ②本市の国際交流について	田口 俊介
6	各個質問	①「健康シティ境港」に向けた施策について ②「境港市の歌」の普及と「境港のイメージソング」の創作について	佐名木知信
7	各個質問	①境港市まちづくり若者委員会について ②境港市校区審議会について ③住宅・土地に関する問題について	浜田 佳尚
8	各個質問	①境港市・米子市連携懇談会の内容について ②平成30年度に向けての国・県要望について	景山 憲
9	各個質問	①地域の防災力向上について ②鳥取県西部広域行政管理組合のごみ処理行政について	平松 謙治
10	各個質問	①強まる豪雨傾向、雨水対策の促進について ②耐震シェルターの設置補助制度の創設について	定岡 敏行
11	各個質問	①障がい者支援について ②自転車の利用促進と自転車を使ったエコツーリズムについて	足田 法行
12	各個質問	①拉致被害者と北朝鮮関連問題について ②市長と語る会、市民と議会の懇談会、双方で出る共通する身近な問題について	松本 熙
13	各個質問	①水木しげるロードの観光振興策について ②外港竹内南地区周辺の整備のあり方について	森岡 俊夫
14	各個質問	①地域猫対策について	築谷 敏雄
14	各個質問	①商、工、農業振興と雇用創出について	永井 章
15	各個質問	①義務教育年齢以上の子育て支援策について ②障がい者支援策の充実について	安田 共子
16	各個質問	①連携強化による一体的発展について（北前船寄港地フォーラム） ②「縮小社会」におけるまちづくりについて	荒井 秀行

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

本町アーケード 解体撤去後の対応は

市長

水木記念館の前庭から 道路への屋根を検討

【田口】水木しげる
ロードの工事に本町
アーケードの解体撤
去が加わるが、予定
に支障はないか。ま
た、雨天時の観光客
の収容や、イベント



公明党 田口 俊介 議員

【田口】竹内南地区
国際貨客船ターミナ
ルを観光資源と捉え

【市長】本年末まで
の解体撤去の計画
で、特段の問題がな
い限り、影響はない。
また、リニューアル
に合わせ、水木しげ
る記念館の前庭の改
修を計画する中で、
前庭から道路部分に
かけて屋根の設置を
検討している。

などへの活用を求め
る声についての考え
は。



境港の未来をひらく3つのインフラ整備事業

【市長】竹内南地区
の具体的な整備方針
を検討中。漁港につ
いては、新しくなる
境漁港の魅力を完成
前からPRするとと
もに、見学ツアーの
受け入れ体制強化や
市内観光地との連携
強化などを検討す
る。

【市長】本年末まで
の解体撤去の計画
で、特段の問題がな
い限り、影響はない。
また、リニューアル
に合わせ、水木しげ
る記念館の前庭の改
修を計画する中で、
前庭から道路部分に
かけて屋根の設置を
検討している。

【市長】本年末まで
の解体撤去の計画
で、特段の問題がな
い限り、影響はない。
また、リニューアル
に合わせ、水木しげ
る記念館の前庭の改
修を計画する中で、
前庭から道路部分に
かけて屋根の設置を
検討している。

友好提携25周年記念式典を盛大に

市長

広く両市民の友好交流の 絆を深める行事に

【田口】中国吉林省
琿春市とは、友好都
市提携の調印をして
から、来年で25周年
を迎える。友好都市
提携後、5年ごとに
両市の間で相互に記
念の式典を行ってい
る。来年は本市での



来年、友好都市提携25周年を迎える琿春市にて

【田口】広く市民が
【市長】拠点都市会
議も友好提携記念式
典も両市の関係者が
集うことになるので
合わせての開催を検
討したい。

25周年の式典開催の
予定となっている
が、来年の環日本海
拠点都市会議は琿春
市での開催でもあ
り、この際、琿春市
での25周年記念式典
の開催を検討しては
どうか。

【市長】式典の会場
は琿春市との協議に
なるが、どちらで開
催するにせよ両市の
市民に広く参加して
いただき、友好と交
流の絆を深めること
のできる、25周年の
節目にふさわしい記
念行事にしたい。

ハッピー健康ポイント制度の創設を

市長

健康づくり行動計画策定の中で参考にする

【佐名木】超高齢社会を迎え、医療・介護費用抑制のため、市民全体を対象にした施策が必要。市民



自民クラブ 佐名木 知信 議員

【佐名木】日本一の健康シティを目指し、市民の心を動かし行動させる積極的な取り組みを願う。

【佐名木】ウォーキングコースについて、歩道の環境整備

の健康づくりへ向け、「健康ポイント制度」の早期導入について、前向きな検討を。

【市長】現在「健康ポイント制度」の導入は考えていないが、健康づくりの行動計画を策定する中で、参考にさせてもらう。



市内トレーニングジムでのヨガ教室

や多種多様なコース設定を進めることは、健康づくりの推進へ向けた喫緊の課題。歴史・文化・自然を体感できるコースの整備、適正な管理を含めた「安心して楽しく歩けるまち」への取り組みと考え方は。

【市長】市民団体や観光関係者と相談し、コースの充実、安全をはかることも、市内道路などの危険箇所点検に努める。

境港のイメージソングの創作を提案

市長

現段階で創作については考えていない

【佐名木】将来を担う子どもたちが、ふるさとを知り、宝物を再発見し、夢を語り合うことで、より

いつそ地域愛が深まる。まさに、人口減少社会に立ち向かう上で、子どもたちの「参加」が希望への光となるのではないか。ぜひ「境港の未来予想図」を素敵な歌にしてはどうか。

【市長】市の情景をイメージさせる素晴らしい歌詞の「境港市の歌」を広く市民に広めていくことが重要であり、現段階ではイメージソングの創作までは、考えていない。



小学生がつくった「元気みなと体操」

【佐名木】子どもから高齢者まで心を合わせ楽しく歌えるイメージソングの創作は、本市の持続的な発展のため、多くの効果が上がる。「海に生きるまち」を大切に思い、温かい心を通わせ、笑顔いっぱい「境港市の歌」やイメージソングを歌うことで、境港市民である誇りとふるさとへの愛着を感じることが出来る。ぜひ前向きな検討を願う。

若者委員会 市政への反映結果報告を

市長 結果報告は行いたい



会派 ぎょうどう
浜田 佳尚 議員

【浜田】若者委員会
で出た意見をどのよ
うに市政に活かすの
か。実効性は。



第1回若者委員会の様子

【市長】検討し、で
きるものは来年度予
算案に、中長期的な
ものは計画などに反
映させていく。
【浜田】どのように
反映されたのか結果
報告の場を設けるべ
き。また、単なる意
見ではなく提言書と
してまとめるはどう
か。
【市長】結果報告は
行いたい。提言書と
いう形でまとめても
らうのも良い方法だ
と思う。検討してみ
たい。

小中一貫校へ向けた統合は早まるか？

教育長 庁内プロジェクト会議などで調整

【浜田】校区審議会
の中で小中一貫校に
向けた二中学校の統
合は10数年後の予測
スケジュールだが、
最終答申によっては
時期が早まることも
考えられるとの見解
があった。あり得る
か。
【教育長】10数年後
という年数は、1つ
の例なので、庁内の
プロジェクト会議な
どで調整をして最終
的なロードマップを
考えていきたい。
【浜田】地域の協力
が必要。早い段階で
地域や保護者の声を
聞いてほしい。



はんも
繁茂する草木の様子

所有者不明の土地、草木の対応を

市長 先進地を参考に研究したい

【浜田】所有者不明
の土地から草木が侵
入してきた場合の市
の対応は。
【市民生活部長】原
則、所有者以外は剪
定できない。例外は
あるが、所有者不明
の場合は手立てがな
いのが実情。
【浜田】今後も増え
てくる問題である。
所有者不明の土地の
調査も含めて対応を
求める。
【市長】先進地を参
考に空き地の草木の
処理について研究し
たい。その上でとれ
る手立てを考えてい
きたい。

農業分野 外国人労働力活用について

市長

白ネギの産地の パワーアップに期待

【市長】指定の時期は、国では「年内に指定を行う」とされている。境港市では主力産品の白ネギに労働力の投下が可能

となり、産地パワーアップにつながる。ともに、経営規模拡大により耕作放棄地の解消につながるものと期待している。

【産業部長】白ネギを中心に約3億円の増加の見込み、耕作放棄地の約20ヘクタールを解消できるものと考えている。

【景山】「農業分野における外国人労働力活用」について、米子市、大山町と共同



会派 きょうどう
景山 憲 議員



主力産品の白ネギ

県道渡余子停車場線などの 整備促進を

市長

渋滞解消に向け 早期の事業化を要望している

【市長】江島大橋からの渋滞緩和のための県道渡余子停車場線バイパス整備、長年の懸案である、県道渡余子停車場線改良（JR境線立体交差）事業は、いずれも本市にとって緊急性のある道路整備で

ある。具体的整備について進展を望むところだが、現況、見通しは。

【市長】2つの道路整備について、昨年度、鳥取県が交通量、渋滞状況の調査を実施した。今年度には、その結果を踏まえ、事業の必要性、事業費を含めた整備手法について方向性が示されると聞いて

いる。

竹内団地から渡余子停車場線を経由して江島大橋に至るルートでの慢性的な渋滞発生、竹内南地区貨客船ターミナル完成後の交通量の増加見込み、災害時の避難ルート確保の観点からも早期の事業化を強く要望している。



渋滞緩和が望まれる県道渡余子停車場線

地域防災力の向上へ ソフト面の工夫を

防災監

さまざまな方策を
検討してみたい



会派 きょうどう 平松 謙治 議員

【平松】本市における地域防災力向上のための課題と対策は。

【市長】自主防災組織の組織率。リーダーの育成。防災訓練等への市民の参加

数に課題がある。地域の防災力向上に向け啓発に努めたい。

【平松】千歳市の防災学習施設「そなえーる」に行政視察に行き、ソフト事業が充実していると感じた。本市での研修などのソフト事業の取り組みは。

【防災監】自主防災組織の要望に応じ、講師派遣を含め研修を行っている。

【平松】知識を学ぶ研修が中心であり、体験型のものが少なく感じる。また、千

歳市では、消防・自衛隊OBを中心とした防災研修を担う市民ボランティア組織もある。このような取り組みは。

【防災監】検討してみたいと思う。

【平松】研修場所については、ソフト面に工夫を凝らせば既存施設で十分に体験学習ができると思う。子どもから大人まで興味を持って参加できる研修プログラムの構築と体制作りを望む。



千歳市の体験型研修

町内の防災力を高めよう
そなえーるが

最終処分場 早期の方針決定を！

市長

場所を含めた方針を検討中

り平成19年以降、補助目的であった污泥焼却残渣の処理を中止した。この事を会計検査院から指摘され、施設の財産処分が完了していない。この為、平成30年度に延期となった。次期最終処分場は、第二処分場の使用年限を考慮すると、スケジュール的にも余裕はないことから、早期に正副管理者会議としての方針を出さ

なければならぬと考えている。
【平松】エコスラグセンターのプラスチック選別処理施設への機能転換が遅れる事による最終処分場の使用可能年限への影響は。
【市民生活部長】1年の遅れで数力月から半年早まる。
【平松】一般廃棄物最終処分場建設の早期の方針決定を望む。

【平松】西部広域行政管理組合のエコスラグセンターをプラスチック選別処理施設へ機能転換する計画が延期となった。その経緯と現状は。また、一般廃棄物最終処分場建設計画の現状は。
【市長】エコスラグセンターは国の補助事業で建設されてお



使用可能年限が10年を切った一般廃棄物処分場
(米子市淀江町)

強まる豪雨 雨水対策の促進を

市長

できる限り早期の整備を
めざして取り組みたい

【定岡】近年、豪雨傾向が強まり、これから先、この傾向は避けたいように思う。幸いにも市内は



日本共産党境港市議団
定岡 敏行 議員

平坦な市域で、土砂崩れや河川の氾濫、洪水などでの人命や家屋の損壊といった心配は少ない。しかし、海面との高低差が少なく、道路や農地の冠水、家屋の浸水被害の増大が懸念される。

汚水整備は現在70%までカバーし、平成38年をめどに完成の見込みだが、雨水対策の整備は計画に対して遅れている。

雨水対策にも改め



平成29年2月20日 矢尻川

て留意し、急がれるところから排水溝や雨水幹線整備を促進する必要がある。

【市長】限られた予算のなか汚水を優先し、雨水対策を一部先送りしている現状がある。排水能力不足や老朽化もある。住民の財産を守る重要な課題である。指摘の点を踏まえて、最近の集中豪雨に留意し、できる限り早期の整備をめざして取り組んでいきたい。

耐震シェルター、防災ベッド助成を

市長

防災ベッドについては国の動向を見守りたい

【定岡】阪神・淡路大震災では、死亡者の約9割が家屋の倒壊による圧死だった。

た。家屋全体の耐震改修ができればいいが、補助を受けても何10万円では手が出ない世帯もある。家屋が倒壊しても頑強な一定の空間を確保できれば、命は守れることはできる。「耐震シェルター」が注目され、鳥取県も費用を補助する制度を作った。県と協調し市も実施を。

同様な効果を持つ、防災ベッドといった製品も開発されている。逃げ出す



木質耐震シェルター
工場での実証実験（一条工務店HP）

こともできない家族の安全、安心を確保することができない。見解は。

【市長】耐震シェルターは、大地震のとき個人の生命を守る大きな効果はあるが、家屋が倒壊し道路を閉鎖する原因の抑制にはならない。また、耐震改修と同程度の費用がかかることから今年度は見送った。防災ベッドについては国の動向を見守りたい。

視覚障がい者への支援を



市長 実態調査の上、検討してみたい



視覚障がい者支援

【足田】昨年施行になった障害者差別解消法には、『合理的配慮』の不提供の禁止の規定があり、あいサポート条例も施行された。本市において鳥取県と連携しながら、同行支援サービスの充実だけでなく、視覚障がい者の職域の拡大、雇用の拡大に関して、可能性を探るとともに、就労支援体制の拡充についての所見は。

【市長】障がい者福祉を進めるにあたって、障がい者が地域で安心して暮らせる共生社会を目指す上で、どういった施策が必要なのかを基本になる。障がい児者プランを策定するにあたっては、関係者とよく協議して共生社会の実現に役立つような計画にしていきたい。4名の視覚障がい者が、3療業（マッサージ、針灸）に従事している。詳しく調査し、実態に照らし合わせてどうなのか、検討してみたい。

市内一周サイクリングコースの検討を

【足田】29回を数える北海道の利尻島一周ふれあいサイクリングは、145万円の開催費用で、1200万円の経済効果がある。これはスポーツイベントで

建設部長

県のコースと米川のコースをうまく使えれば

はないので、だれでも参加でき、自転車の種類を選ばない。サイクリング以外にも飲食、買い物などができる。境港市はやり方次第で、車では味わえない魅力を発見、創出ができると思っている。自転車専用道路の整備を含めて、本市のスポットを自転車でもわかる一周の観光サイクリングコースなどを検討してはどう



弓ヶ浜サイクリングコース

か。【建設部長】弓ヶ浜のサイクリングコースは、県で作っていて、夢みなとタワーまでつながる計画になっている。延長して本市を一周するコースは、難しいという結論になっている。しかし、米川沿いのところに、自転車道があり、うまく既存の道路を使って延長できればと思っている。

北朝鮮への圧力は避けるべき

市長

北朝鮮に圧力をかけるのはおおかたの思いだ

【松本】蓮池薫さんの講演を聞く機会があった。昭和52年に故郷の海岸で突然襲われ、袋に入れられて北朝鮮の工作船で拉致された。「24年



間の拉致で奪われた歳月が、いかに不合理的な事件だったか。帰国後15年が経つが5人以外は何も解決していない」と訴えた言葉が耳に残る。蓮池さんは「政府には残る15名の帰国を前面に出すことが必要」「金でなく電力不足に対応する技術指導で雇用を生み出す支援が効果的」と訴えた。北朝鮮に「最大限の圧力」は避け、粘



拉致被害者の早期帰国は国民の悲願

り強く対話重視を日本がリードすべき。【市長】何よりも拉致問題を風化させないことが重要。県とともに学習会や講演会などで啓発活動を推進している。北朝鮮に圧力をかけることは国民のおおかたの思いだと思う。【松本】拉致問題を考えると、北朝鮮に制裁をかけ続け、孤立化させるべきでない。

市長と語る会 対応を公開しては

市長

概要を市報でお知らせしたい

【松本】市長と語る会で出された意見への対応は。【市長】市長と語る会は、すべて記録し、質問には、その場で答えたり、担当が説明したりしている。意見は庁内に持ち帰り、対応できるか検討し、施策に反映できるものはする。で

きないものではない。【松本】市民と議会の懇談会は、意見と対応をまとめ、ホームページで公開している。【市長】市長と語る会に出席された方だけでなく、全体でどんな意見が出て、行政の対応はどうだっ

たか市報で概要を、お知らせすることはいいのではないかとと思う。【松本】主役は行政でも議会でもなく市民だ。多数の人は語る会の中身を知らない。市民に公開することは大事なことだと思う。ぜひ工夫してほしい。



みんなで行こう「市長と語る会」

本町アーケードの撤去問題について

市長

本町商店街側の意向を尊重して結論を



会派 ぎょうどう 森岡 俊夫 議員

【森岡】本町アーケードの撤去を懸念する声がある。仮に市が引き取って耐震補強するという考え方で、関係者に声を聴

いてみてはどうか。

【市長】設置者である本町商店街の会員の総意として撤去する結論に至ったところである。水木しげる記念館前庭から商店街にかけての屋根の設置については、関係者の声をうかがう。

【森岡】水木しげるロード沿線に日よけ施設を設置してはどうか。

【市長】雨、雪、日よけ対策はお客様をお迎えするために重要であるが、氷柱や



撤去予定の本町アーケード

ミストシャワーを設置するなど各商店でもてなしをしている。雨、雪などの対策はまずは水木しげるロード振興会など、地元で協議してほしい。

【森岡】水木ロードと新しい漁港を結ぶ動線施策が必要ではないか。

【市長】リニューアルを終えたあと、将来構想として直売センターとを結ぶ動線施策を考えておかなければならない。

竹内南地区の賑わいづくりについて

市長

マリーナ・浜辺を活用した構想を

【森岡】体験型観光振興策として公共マリーナ、勝手ヶ浜の再整備など夢のある計画を検討しては。【市長】水族館の建設については、今後の財政状況を見極めた上で慎重に検討していきたいかなければならない。アドバイザーからは水族館単体ではなく、セットで滞在を増やすようなま

ちづくりを考えることが重要という意見もあった。

水族館構想を表に出すときには、ターミナルを核とした総合的な夢のある絵を描いていく方向で考えていきたい。

【森岡】勝手ヶ浜を活用したイベントの誘致を考えては。

【市長】マリーナを含めて、シーズンを通して、浜辺を活用したスポーツエリアに

なるよう構想を進めていきたい。

【森岡】外港竹内地区の貨客船ターミナル供用開始イベントに「北前船寄港地フォーラム」を誘致しては。

【市長】本市のPRをかねて境港管理組合などの関係者と相談しながら「北前船寄港地フォーラム」の誘致について検討したい。



竹内南地区将来イメージ図

本市における地域猫対策の考え方は

市長

助成制度の拡充を検討し
支援と啓発を強めていく

術費補助事業を実施しており、野良猫を増やささないTNR（捕まえる・手術する・戻す）活動の一環を担い、地域住民・ボランティア・行政が三位一体で地域問題を解決する手法の一つと考える。

まずは、現在設けている補助制度の拡充を検討し、手術を検討されている方々への支援と啓発を強めていきたいと考えている。また、紹介

のあった地域住民を巻き込んだ取り組みなど、先進的な取り組みについて引き続き研究をしたいと考えている。

【市長】昨年度から境港市猫不妊去勢手術ががう。

【築谷】本市として、地域猫対策をどのように考えているかががう。



先進地の取り組み事例

農業現場における農福連携は

市長

関係機関と連携しながら
支援していく



人手不足が深刻化する農業現場

【永井】農業現場での人手不足や農福連携について所見は。

【市長】農業現場での人手不足が全国的に深刻化している。本市としては、障がいのある方の就労



支援における農福連携が、農業現場での雇用につながり、人手不足の解消や、障がいのある方の収入の増加にもつながるよう関係機関と連携しながら、支援していく。

【永井】農村地域工業等導入促進法の改正が本市の耕作放棄地対策や企業誘致に与える影響についてうかがう。

【市長】市町村が企

業誘致に向け土地利用調整、導入産業の計画実現性、事業の継続性を盛り込んだ計画の作成手続きを前提に、農用地区域からの除外、農地転用が可能となる配慮規定が措置されたところである。この法改正が、企業誘致、耕作放棄地を活用した新たな工業団地の造成の手法として、どう生かせるのか研究している。

義務教育卒業後の負担軽減策充実を

教育長

国や県がやるべきだが市でも研究していきたい



日本共産党境港市議団 安田 共子 議員

【安田】県内では、6町で高校生の通学費助成のほか、琴浦町で町出身の高校生などへの給付型奨学金、日南町で高校教

科書代の補助など実施している。高額な高等教育費も少子化の一因だ。これらの施策について所見は。【教育長】負担軽減策は、国、県で検討されるべきで、新たな施策は現在では考えていない。

【教育長】国、県の教育無償化の動きを見ていき、県にも問題提起をしながら、本市にふさわしい制度を研究していかなくてはいいけない。市の奨学金制度ももっと活用してもらえよう研究していきたい。【市長】一義的には国や県のレベルで施策が講じられるべきだが、どういったことが可能なのかが研究させてもらいたい。

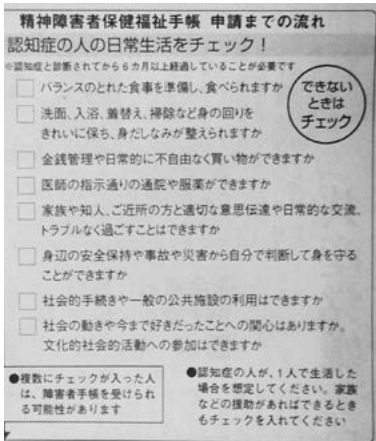


高校生を乗せ4両編成で走るJR境線

精神障がい福祉の周知は十分か

市長

認知症が対象になりうることも周知している



複数にチェックが入ったら手帳取得の可能性あり

【安田】市のホームページ上の、精神障害者保健福祉手帳について対象疾患の例示がないため改善を求めたい。【市長】主な対象疾患の掲載など、改善を行った。【安田】認知症が障害者手帳の対象にすることがあまり知られていない。周知や交付の状況は。【市長】窓口での案内、心の病気に関する各種支援制度のチラシなどで周知をはかっている。精神障害者保健福祉手帳の交付状況は304

人。そのうち認知症の方は17人。【安田】国の研究から推計すると重度の認知症患者は市内に500人程度。漏れないようにしてほしい。医療機関への周知はどうか。【福祉保健部長】精神障がい者福祉に関する研修会を介護、障がいに関わる人達を中心に行っている。心の病についてのチラシは医療機関にも配っている。医師が、患者などへ制度の周知をするように努める。

北前船寄港地フォーラム誘致要望



自民クラブ
荒井 秀行 議員

市長

関係機関とともにフォーラム誘致を検討したい

【荒井】境港は名実ともに環日本海の拠点都市である。北前船寄港地フォーラムを誘致することを要望する。市長の見解をうかがう。

【市長】この寄港地フォーラムは、貨客船ターミナルの完成後に、本市で開催できれば、良いPRになると感じている。美保関や境港管理組合などと相談しながら、フォーラム誘致について、検討したい。



復元北前型弁才船「みちのく丸」

を誘致し、次の段階として、日本遺産の認定がある。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・歴史を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。認定されると、知名度も上がり、観光振興につながり地域の活性化につながると思う。市長の見解をうかがう。

【市長】日本遺産の申請についても、検討してみたい。

美化作業を行う団体に必要な機器を

市長

安全性を確認し
ボランティア団体に貸し出す

【荒井】「協働のまちづくり」で実施している美化作業を行うに当たり、市や関連団体に作業に効果的な機器を備え、必要とする団体に貸し出す制度を作ることが要望する。

【市長】市民にも「協働のまちづくり」の意識が浸透してき

た。乗用の草刈り機については、安全性が確保されれば、貸し出しを実施する。トラクターを新たに備える考えはないが、ボランティア団体が荒廃地を開墾する場合は、その一部を助成するしくみを検討する。

【荒井】荒廃農地の象徴的場所、二中交差点付近から北の柳の木が生茂った中央

産業線沿いの荒廃農地は、市や地主やボランティアの力を結集して、取り組むことを要望する。

【市長】荒廃地を解消するための取り組みをしていく必要がある。

【荒井】乗用の草刈り機は、作業性からして、4輪駆動のものが必要である。

【市長】市で購入を検討してみたい。



松林復興現場で乗用草刈機で作業

平成29年度「市民と議会の懇談会」のお礼と報告

今年度は、最終日の外江会場が台風の影響のために開催中止となり、8会場の予定が7会場での開催となりましたが、合計99人の市民の皆さんに参加をいただきました。ご参加ありがとうございました。

各会場において、いただいたご意見やご提言は、今後の議会活動や市政運営の調査・研究に生かしてまいります。各会場でいただいたご意見を整理し、質疑・回答書としてまとめました。市議会ホームページへ掲載するとともに、公民館などに置かせていただいております。

日程(8月)	会 場	参加者(人)
1日(火)	渡公民館	23
	境公民館	13
2日(水)	上道公民館	8
	余子公民館	19
4日(金)	誠道公民館	16
	中浜公民館集会所	12
6日(日)	中央公民館(全市)	8
7日(月)	外江公民館	中 止
合 計		99



「若手農業者と議会の懇談会」の報告

境港市議会では、議会基本条例において、市民との懇談会やテーマごとの懇談会を適時開催すると定めており、このたびは、主に白ネギを生産する次世代農家の会「NEXT(ネクスト)」を中心とする若手農業者の皆さんと、10月6日に懇談会を開催しました。

若手農業者は「NEXT」の梶谷重幸会長以下9名、市議会は所管である経済厚生委員会委員を中心に全議員が参加しました。

梶谷会長は、「農業は休みがないなど、いろいろなイメージがあるが、やり方次第では利益を上げることでもでき、胸をはれる職業だと思っている。この組織の中で、素晴らしい技術と経営を共有し合い、次世代につなげていきたい」と抱負を語られました。

若手農業者からは、農地の確保について、「市内では耕作できる畑が不足しており今後、新規就農者も参入が見込まれる中で、農地の確保が重要課題」との意見があったほか、荒廃農地対策、農地再配分、側溝にたまった砂の清掃、農地の排水計画、新規就農者への助成制度などについて要望が出されました。

議員からは、農業のイメージアップに向けての行政や議会の積極的な取り組みや、農地確保のための仕組みづくりが必要ではないか、農業への関心を高めるため、子どもたちの収穫体験や食育、水産・観光などとの連携に取り組んではどうかなどの意見があり、お互いに活発な意見交換を行いました。



表紙・裏表紙の写真を募集します！

議会だより編集部では、より市民の皆さんと相互に交流できる紙面作りをめざし、議会だより「つなぐ」に掲載する「表紙・裏表紙の写真」を募集しています。
写真の応募については下記をご覧ください。

1 テーマ

「境港市内で撮影した写真」または、「境港市に関係のある写真」

2 応募資格

市内在住、在勤・在校の方

3 応募できる写真

被写体となった人物などに応募（掲載）の許可が得られたもの。他人の著作権、肖像権を侵害したような行為が行われた場合におけるトラブル等には一切責任を負いかねます。

4 応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所、コメントを記入し、画像データを添付のうえ、議会事務局宛てにメールで送ってください。

お手数ですが、メール到着確認のため、メール送信後、議会事務局宛てにお電話をいただきますようお願いいたします。

宛先 境港市議会事務局

メールアドレス gikai@city.sakaiminato.lg.jp

電話番号 0859-47-1097

5 写真の選定

写真の選定は議会だより編集部で行います。

6 その他

写真に関しては編集の都合上、トリミング処理などの加工を行う場合があります。

著作権は作者本人に帰属しますが、採用された写真は市議会のホームページなどに掲載させていただく場合もあります。

あしがき

市民の皆さんからの「議員が日頃何をしているのかわからない」というご意見を受け、境港市議会基本条例では、「多様な形で市民との意見交換会を適時開催する」「多くの市民が議会及び市政に関心を持つよう広報に努める」と定めました。その一環として各種懇談会開催や議会だより発行に取り組んでいます。

議会主催の懇談会では各議員の主義主張は極力控え、議会としての取り組みや考えをお伝えしていますが、「各議員の考えや政策を聞きたい」というご要望をいただきます。議員個人や党派による広報・広聴活動などの努力をもっと求められていると受け止めています。来年2月には境港市議会は改選を迎えますが、選挙の時だけではなく、日頃から議員の活動が市民の皆さんに見えるよう今後も努力を続けてまいります。

(安田)

【発行責任者】

議長 岡空 研二

【議会だより編集部】

部長 浜田 佳尚

部会長 築谷 敏雄

足田 法行

安田 共子

